



# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

暑い日の玄  
 関先、日陰  
 でハナ  
 05.05撮影



## 1 家の周りで野菜作り

05.04庭畑のブルー  
 バリーも咲く→



↑05.05初採り絹サヤ  
 →絹サヤは繊細なツル豆、  
 毎年冬に庭畑に種を蒔き冬  
 越しをして、立夏の頃に実  
 をつける。毎日の見回り水  
 遣りなどが欠かせない。



五月連休  
 も明けたと  
 いうのに肌  
 寒く、霜注  
 意予報の出  
 た朝があ

り、夏日となった日もあるな  
 ど安定しないが、冬野菜を抜  
 き肥料をまいて耕し、夏野菜  
 の種を蒔き芋を植え、野菜苗  
 を植えるなど毎年変わらない  
 畑仕事。少し不自由でも日々  
 同じカカトの田舎暮らし。

### 目次

- 1 家の周りで野菜作り 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? 1
- 3 野菜作りの続き 2
- 4 また日本蜜蜂が来たか!? 2
- 5 五月のお味 2

### ハイライト

立夏・次候5月10～  
 15日「蚯蚓いきゅうい  
 ん いずる」「蚯蚓」とは  
 ミミズのこと。ミミズが  
 土から出てくる頃と言う  
 意味。その名は「目見え  
 ず」から転じたもの  
 とされるが、  
 陸上のミミズ  
 は光を  
 感知



05.06今年も咲いてく  
 れた西洋ジャクナゲ。

し、常  
 に暗がりへ進む性質  
 を持っている。「目見え  
 ず」から転じた! そう言  
 えば子供のころに「メ  
 ズ」と呼んでいたような  
 記憶が? ミミズは一年中  
 産卵をするが、あまり気  
 温が低いと孵化に至ら  
 ない。そのため春なってよ  
 うやく生まれ、一人前の  
 姿になって姿を見せるの  
 が初夏になるわけであ  
 る。トトはミミズに関す  
 るエピソードは無く「ミ  
 ミズビジネスで一攫千  
 金!!」の時代を記憶して  
 いるだけ。畑仕事をする  
 ようになってから、ミミ  
 ズと頻繁に出会うよう  
 になったが、書くような話  
 しは何も見えず・・・



05.01↑狭く細長い黒マルチに、自家採  
 取したカボチャ種「伯爵」を蒔いた。  
 ノカ力はインゲン豆の敷き藁を外し、豆  
 の芽を食べるダンゴムシの駆除をする。

＼肥料空き袋  
 で風除け行  
 灯、中には植  
 えたズッキー  
 ニ苗。＼の行  
 灯にはズッ  
 キーニの買っ  
 た苗3本と種か  
 ら育てた自家  
 製苗3本が。



↑05.07ナナミ  
 ちゃんのお宿前の  
 畑、最後まで残っ  
 ていた冬の葉物野  
 菜を抜き、カカは  
 耕し終わった畝の  
 通路を整備中。  
 ←手前からトマト  
 畝、ズッキーニ  
 畝、ナス畝、今回  
 耕した畝、レタス  
 とブロッコリー畝

←05.02母屋前の庭畑、写真右の支柱にキュウリ苗、白ネットの中  
 には小玉スイカ苗と中玉スイカ苗を植え、左の黒ネット上側にピー  
 マンと万願寺唐辛子の苗を植え、黒ネット左にはゴーヤ苗を植えた

## 2 「ナナミちゃんのお宿」

05.07↓梅や桜にスモモも咲き終わり、今は赤い  
 ヤマトツジに紫のミヤコフスレやアヤマが咲く。

お宿は休業  
 中ですが、季  
 節は春から初  
 夏へ移り、庭  
 の桜は散りヤ  
 マツツジの赤  
 い色が目を惹  
 く頃、木々も萌黄から新緑の季節に変わっ  
 ています。お宿の縁側に座り、ゆっくりです  
 が移り変わる周囲を見ては「一呼吸」フウ～



＼お宿前の畑仕事に忙しいカカ、今はトマトフ  
 レームにビニール屋根を張り、トマト苗を植え  
 他にナスやゴーヤなどの苗も植えました。

### 3 野菜作りの続き



04.23←抜けるような青空、黄色の菜花が咲く春。週間予報で霜注意報が!! ↑小屋から整理したネットを出し、発芽したジャガイモの芽に霜除けネットを張る/五月連休明けにも霜注意報、寒暖の差が激しい。



「不要不急の外出自粛」悩んだ末に、苗専門店が混んでいたら「止める」と決めて行く、温室の窓は解放し人も密集には程遠く一安心。ゴーヤ、千両ナス、大長ナス、ミニトマト4種と中玉トマト、ピーマン、万

願寺唐辛子、ズッキーニにキュウリ、小玉スイカに中玉スイカなどを購入した。苗植え後の雨続きが幸いして、育てほしい。



04.24蜜蜂の飛行を妨げないよう、箱の前の茗荷を掘り、家の裏へ移植した



①04.29お宿前の畑に、購入したナス苗を植えた。↑②お宿前の畑、前日トマトフレームに屋根シートを張り終え、翌30日に購入したトマト苗を植えた。→③同じ30日に母屋前の庭畑、右側の支柱にキュウリ苗、隣にスイカ苗を植えるカカ



←05.01コシアブラご飯にピッタリな葉の開き具合!! 剪定を兼ねて枝ごと切り取る。/沢山刻んだコシアブラの葉を、炊きあがった茶飯に入れて↓混ぜ合わせる、オコゲもあってイイ匂い。ラップに包んでオニギリにしたり、プラパックに詰めてみたりしますが、コシアブラの若葉色が少し色変わりしてしまいます。天ぷらにすればソバとの相性良くオイシイ!



→05.01朝食、メインは「山菜の女王」とも称されるコシアブラご飯、香り味ともに良い。油揚げと青菜で嚼大豆の味噌汁、冷凍保存しておいた真竹筍と絹厚揚げの煮物、レタスと魚肉ソーセージに目玉焼き、ヨーグルトもつけてタンパク質は足りている。いただきま〜すバクバクバク

### 4 また日本蜜蜂が来たか!?



↑05.04二箱目に日本蜜蜂が群がり、また分蜂群か? 翌日の箱の中、蜜蜂は居つかず空でした。



↑この場所は小蟻が入りやすい、タイルの上にレンガを乗せて、蜂箱を乗せ直した。

4月16日に分蜂群が箱に入ってから、逃亡しないように糖液を作り給餌をしている。昨年は巣房に蜂蜜を残したまま消滅、餌不足が原因では? と考え、ニセアカシアが咲くまで給餌を続けている。今は花粉を運んでいるので、産卵を始めていて居つくとおもうが。



↑05.08分蜂群が居ついて1カ月ほど、巣房も6枚ほどに成長

### 5 五月のお味

山菜の季節を直撃した新型コロナにめげず、

天ぷらにしたり煮たり茹でたり炊いたり、手を変え品を変えて食べていますが、コシアブラご飯も四度も食べれば食傷気味。平凡な日々の中でも、テレビのスイッチを入れれば、新型コロナのニュースで、食欲減退ぎみになっております。

